

令和5年度 第6回三次市地域公共交通会議 議事要旨

1. 開催概要

日 時：令和6年2月22日（木）15時30分～16時50分

場 所：三次市役所本庁舎602会議室

出席者：

[副会長] 三次市地域振興部 矢野 美由紀

[委員]

| | |
|-------------------------|-------------------|
| 備北交通株式会社 實兼 利光 | 十番交通有限会社 有木 好文 |
| 私鉄中国地方労働組合備北交通支部 長谷川 和宏 | 三次みどりタクシー 石田 光雄 |
| 粟屋町 中野 和彦 | 三次広域商工会 中宗 久之 |
| 三次市建設部 加藤 伸司 | 広島県地域政策局 才ノ平主任(代) |
| 中国運輸局広島運輸支局 中井 孝司 | 米子工業高等専門学校 加藤 博和 |

2. 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 備北交通(株)「作木線（三江線代替バス）」の再編について
 - (2) 三次市民バス甲奴町線（甲奴ー吉舎）の利用状況について
 - (3) 令和5年度三次市地域公共交通会議事業実績及び収支決算（見込）について
- 4 協議事項
 - (1) 三次市地域公共交通計画の一部改定（素案）について
 - (2) 令和6～8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について
 - (3) 特定非営利活動法人はすみ振興会が運行する自家用有償旅客運送の三次市への乗り入れについて
 - (4) 令和6年度三次市地域公共交通会議事業計画及び予算（案）について
 - (5) 三次市地域公共交通会議への運賃協議会の設置に係る要綱改正について
- 5 その他
- 6 閉会

3. 議 事

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

<事務局より、報告事項(1) 「備北交通㈱「作木線（三江線代替バス）」の再編について」を説明>

<事務局より、報告事項(2) 「三次市民バス甲奴町線（甲奴－吉舎）の利用状況について」を説明>

<事務局より、報告事項(3) 「令和5年度三次市地域公共交通会議事業実績及び収支決算（見込）について」を説明>

(加藤委員)

報告事項(1)の作木線について。最終便の需要はどう見込まれているのか。路線として定めている以上、乗客がいなくても20時19分まで運行しなくてはならないが、冬場は誰も乗客がおられないのではないかと。もう少し効率的な運行ができれば、運転手の負担がより軽くなる。4月1日からの様子を見て、利用が無ければ見直すなどもできるかもしれない。

報告事項(2)について。帰りの利用が少ないのは、タクシーで戻るようなケースが考えられる。その中で、小童地区の12月、1月の往路17時便に大人5人、3人と乗られている。忘年会や新年会等があったことも考えられるが、実態がわかれば教えて欲しい。便利な利用方法として周知できる。

報告事項(3)の3番目の「地域内生活交通検討会の開催」について。例えば、路線を再編しようとか、定時定路線の市民バスをデマンドにしよう、あるいは利用促進をやろうなど、どのような検討をしているか教えていただきたい。

(實兼委員)

ご質問にあった作木線の事業計画の変更は、理由として乗務員確保が大きい。2024年問題において休憩時間を確保し、拘束時間を短くするというのが大きな柱としてある。この地区では3つの車庫を3人でローテーションしているが、乗務員のひとりが大田市の従業員で、美郷町が一番近く、他の地区の車庫に来るとインターバルが守れない、という当社の事情があるため見直しを行っている。この時間にGR大和に行く利用者は現実的には極めて少ない。時間をずらしたのも13時間以内の拘束時間というものをベースに設定した結果である。

(事務局)

報告事項(2)について。小童地区の12月・1月の往路17時便は数字が跳ね上がっており、運行事業者に聞き取り等していないが、おそらく時期的に忘年会等かと思う。現在、運行を始めて8か月目だが、丸一年経つ段階で事業者に詳しい状況等についてヒアリングを行い、分析する。

報告事項(3)の地域内生活交通検討会の開催について。こちらは定期開催ではなく、必要に応じて開催している。最近では、作木町内で、定時定路線として運行している市民バス作木町線をデマンド運

行にすることについて検討している。また、吉舎町では、市民バス医院巡回コースの運行経路変更の協議などを行っている。今後も必要に応じて開催する。

(加藤委員)

地元主体で開催している、ということで理解した。また、検討会は支所単位と思うが、旧三次市ではどのように検討するのか。

(事務局)

旧三次市では、現在、唯一川西地区で設置している。一方で支所管内では、甲奴地区は設置していない。また、旧三次市内の各地域から要望等があれば市役所から赴き、コミュニティセンター、自治連合会を中心にお話を伺ったり、こうした検討会があることを情報提供している。

(加藤委員)

自治連で考えをまとめたら、定住対策・暮らし支援課に伝えたり、地域振興課とも連携したり、ということもあるかと思う。了解した。

4. 協議事項

<事務局より、協議事項（1）「三次市地域公共交通計画の一部改定（素案）について」を説明>

(加藤委員)

別紙改訂版 26 ページの高速バス運行の箇所、阪急バスが削除されているが、本文には残っているので削除された方がよい。また、表の中の浜田道エクスプレスは起終点としては益田市や江津市であるので他に合わせてそこも書いた方がよい。

(事務局)

ご指摘の通りである。追記・修正をする。

(副会長)

今のような整合性が取れない部分等について後から気付きがあればご指摘をお願いします。

協議事項（1）についてご承認いただけるか。

(一同)

異議無し。

<事務局より、協議事項（2）「令和6～8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について」を説明>

(加藤委員)

計画変更についての異議はない。4月からダイヤが変わるが、これと、3. 2の「目標達成のための事業」とを照らしたとき、事業2-1のような他の交通機関への乗り換え・ダイヤ調整というのは図られたのか。また、事業4-4にあるように路線ごとに時刻表があり、かつ沿線市が主体になって時刻表を作られたかと思うが、今回リニューアルされるのか。

また、作木線は貨客混載の取組をされて、路線の維持努力をされている。この機会にそのことも書き加えても良いのではないか。

(事務局)

作木線の乗り継ぎの関係についてはJRと接続ができるダイヤにしている。経緯として、色々なダイヤ案があったが、備北交通と協議の上、JRとの接続が欠かせないということになった。三次青陵高校や日彰館高校に通学している、また4月以降に通学される高校生のためにJR福塩線と作木線の乗り継ぎはマストであろう、ということで今回のダイヤ案に落ち着いた。

事業4-4の作木線の時刻表については、備北交通で作成されると考えている。また、分かりやすい運行情報の提供ということで、今回協議いただいた内容を3月の「作木支所だより」にて周知を図る。

貨客混載については、記載するよう修正する。内容は事務局に一任いただきたい。記載については備北交通と確認しながら進める。

(副会長)

その他ご質問やご意見が無いようであれば、協議事項(2)についてご承認いただけるということでよろしいか。

(一同)

異議無し。

<事務局より、協議事項(3)「特定非営利活動法人はすみ振興会が運行する自家用有償旅客運送の三次市への乗り入れについて」を説明>

(加藤委員)

市内にある4つの停留所では、利用者がどれくらいいるのか。

(事務局)

三次市としては数字を持ち合わせていないため、邑南町に確認する。

(加藤委員)

必要だから更新したいということであるので、利用者がおられるということだろう。

(副会長)

その他ご意見等無いようであれば、協議事項(3)についてご承認いただけるということによろしいか。

(一同)

異議無し。

<事務局より、協議事項(4)「令和6年度三次市地域公共交通会議事業計画及び予算(案)について」を説明>

(加藤委員)

交通計画に位置付けられている事業を具体的に取り組んでいくということかと思うが、そのうち、「災害等の備える取組」というのは具体的にどんなことを考えているのか。

(事務局)

公共交通関係の災害は、夏の大雨、地震などであり、その時の情報収集や代替バスなどの取組が想定される。いつでも対策がとれるように備えということで計上している。

(加藤委員)

具体的には来年度になる、ということに理解する。

(副会長)

協議事項(4)についてご承認ということで良いか。

(一同)

異議なし

<事務局より、協議事項(5)「三次市地域公共交通会議への運賃協議会の設置に係る要綱改正について」を説明>

(副会長)

協議事項(5)についてご承認ということで良いか。

(一同)

異議なし

5. その他

(實兼委員)

情報提供であるが、市街地循環バス「くるるん」について、予定では3月末頃に電気自動車、いわゆるEVバスを広島県の支援を受けて導入予定である。本格導入については路線研修等もあり、4月に入るかと思う。皆さんにはぜひご利用をお願いしたい。

(有木委員)

車種は、現行と同じポンチョか。

(實兼委員)

今と同型で、中国製のバスである。

(加藤委員)

充電施設はどうなっているか。

(實兼委員)

充電施設も営業所内に設置する。

(加藤委員)

今後は増やしていかれるのか。

(實兼委員)

1台目の運用の成果にもよるが、順次増やしていきたい。

(有木委員)

質問であるが、三次から名古屋に行く高速バスはいつから三次駅に入っているのか。またどれくらい利用があるのか。

(加藤委員)

学生の頃に利用したことがあるので随分前からだと思われる。利用者数についてはわからない。

(副会長)

事務局で整理して、また情報提供をお願いします。

(加藤委員)

今月からRCCラジオで芸備線について放送される件について、事務局から情報提供されてはどう

か。

(事務局)

中国放送と契約して、芸備線の利用促進に関して3つの事業をお願いした。1つはY o u T u b eの「芸備線一人旅」というテーマで、芸備線を利用しながら最寄りの色々な店に立ち寄るという内容。市のHPでもリンクを貼っている。

2つめは3月23日に「芸備線・三次の街歩きツアー」として貸し切り車両1両を使い、40名で広島から三次に行っていただく。これにはアナウンサーも同行する。2月1日から募集するということ朝7時半に告知すると3時間経たないうちに満員になった。

3つめは、2月の金曜日の朝、R C C「本名正憲のおはようラジオ」の「おはようフォーカス」という10分程のコーナーで芸備線をテーマに毎週色々なゲストが出演して芸備線の魅力について話をさせていただくもの。加藤委員には第1回目をお願いをし、芸備線の歴史、課題、利用促進等について非常に幅広くお話いただいた。2週目は三次高校二年生が「芸備線を盛り上げる会」として活動されており、その話をされた。大人が聞いても共感する内容であった。先週の2月16日はローカル線旅ライターのやまものりこさんが芸備線の魅力等お話をされた。最後の明日は行政の立場からということで私が出演することになっている。芸備線対策協議会の取組や、どっちも割の取組、ツアーの話、行政の役割などについてお話して、4回目を締めることにしている。

6. 閉 会

以 上